

# 自己評価及び外部評価結果

平成 25 年度

## 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1490700067	事業の開始年月日	平成 21 年 6 月 1 日
		指定年月日	平成 21 年 6 月 1 日
法人名	大信産業株式会社		
事業所名	グループホーム みのり丸ちゃん山ちゃん		
所在地	(〒235 - 0011 )		
	横浜市磯子区丸山 1 丁目 16 - 5		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18 名
		工外数	2 工外
自己評価作成日	平成 25 年 10 月 20 日	評価結果 市町村受理日	平成 26 年 4 月 28 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

医食同源の考え方から、きちんとした食事を摂る事で、心も体も健康を維持し、その人らしく生活していけるようお手伝いします。  
開設より 5 年目になり、入居者様それぞれのニーズも変わりつつあります。日常生活の中で少しでも今できる事、楽しめている事を継続していけるようにと考えております。  
終末期に関しては、個々にその方の状況に合わせて家族様と話し合い、その時の入居者様、ご家族様のお気持ちに沿ってお手伝いしていけるよう医療職と連携して、安心して暮らしていける環境づくりに努めております。

## 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町 2 丁目 10 番地 横浜大栄ビル 8 階		
訪問調査日	平成 25 年 11 月 1 日	評価機関 評価決定日	平成 26 年 2 月 28 日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

### 【事業所の概要】

この事業所は JR 根岸駅よりバスで約 10 分、丸山町公園で下車し、徒歩 5 分の住宅街にある。開設は平成 21 年 6 月で、建物は軽量鉄骨造り 3 階建てである。このグループホームは建物の 2~3 階にあり、定員は 18 名である。建物の 1 階には同一法人の小規模多機能型居宅介護事業所が併設されている。

ホームの運営は「医食同源」の考えから、「おいしく食べて心も体も健康に 認め合って、支え合って その人らしさを大切にします」を基調にした理念がある。一人ひとりの要望に沿った美味しい食事の提供と介護が行われ、運営課題に熱心に取り組みサービスの向上に努めている。

共用空間にはリビング（兼食堂）と談話コーナーがあり、明るく清潔である。壁面には利用者の習字、季節感のある七夕や鯉のぼりなどの作品や生花、行事の写真などが展示され、憩いの空間がつけられている。

### 【医療・健康管理、ターミナルケア】

事業所と提携している訪問診療医（内科、皮膚科、眼科）が月に 2 回訪れている。入居以前からのかかりつけ医を利用している人もいる。訪問看護ステーションの看護師が毎週 1 回訪れ、健康管理が行われている。利用者が重度化した場合は、本人・家族の意向を確認し、その都度関係者と協議し、意向に沿ったチームケアが行われている。

### 【地域との交流と利用者の暮らしづくり】

町内会の夏祭りや敬老会に招かれている。行事食のほか、寿司の出前やファミリーレストランにも出かけている。利用者は配膳、片づけなど出来ることを職員とともに行っている。リビングでは体操、懐かしい歌、ゲームなどで終日レクリエーションを楽しんでいる。年間行事計画に沿い、季節ごとの花見、いちご狩りやドライブに出かけている。

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみのり丸ちゃん山ちゃん
ユニット名	丸ちゃん

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3 くらいの 3. 利用者の1/3 くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1 回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3 くらいが 3. 利用者の1/3 くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3 くらいが 3. 利用者の1/3 くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3 くらいが 3. 利用者の1/3 くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3 くらいが 3. 利用者の1/3 くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3 くらいが 3. 利用者の1/3 くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3 くらいと 3. 家族の1/3 くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1 回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3 くらいが 3. 職員の1/3 くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3 くらいが 3. 利用者の1/3 くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3 くらいが 3. 家族等の1/3 くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に掲げている「食」と「その人らしさ」を大切にしています。入居者様、ご家族様のそれぞれの異なるニーズに柔軟にお答えできるようスタッフ間で連携し、実践に努めています。	事業所の開設時に「医食同源」の考えを発展させ、独自の理念「おいしく食べて心も体も健康に認め合って、支え合ってその人らしさを大切にします」を全職員で話し合って作成した。理念は各ユニットの事務室と廊下に職員の写真と共に掲示している。日々の申し送りやミーティングで周知・意識づけしケアに活かしている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し 行事等に参加させて頂いております。敬老会、餅つき、夏祭り等は毎年皆さんがとても楽しみにされています。町内会の行事では顔なじみのご近所の方々にお声をかけて頂き「あら お久しぶり お元気でした？」と 談笑される場面もよくあります。近隣の商店での買い物や、散歩を通して日常で交流が図れるように心がけています。近隣に在住のスタッフも多く、地域の情報や話題を多く、入居者様と共有出来ていると思います。ご近所のお宅から 釣ってきたお魚のおすそわけを頂く事があります。	丸山第一町内会に加入し夏祭り、敬老会に招かれたり、成人祝賀会には土産持参で参加している。避難訓練に参加することもある。事業所ユニット名「丸ちゃん山ちゃん」は町内名から取り、町内から親しまれている。近隣から入居した利用者もあり、散歩や至近のスーパーマーケットでの買い物、町内会行事などを通じて顔見知りが多く、交流が継続している。職員にも前町内会副会長のほか近隣在住者が多く、おすそ分けの交換などで日常的に近所付き合いがある。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日常生活の中での近隣との交流や、見学に来られた皆さまにお伝えすることで 認知症があっても穏やかに その人らしく暮らしていける事が理解されてきていると思います。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催する事で コミュニケーションも取れ、お話ししやすい雰囲気になってきています。今年度から3ヶ月毎、年4回の開催としました。報告した活動状況にご家族様目線での、評価、アドバイスを聞く事ができ、サービスの向上に活かす事が出来ていると思います。会議で要望された事は速やかに対応するように努めております。	運営推進会議は、1階にある同一法人の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で、3ヶ月ごとに定期的開催している。出席者は利用者、家族、町内会長、民生委員、社会福祉協議会と地域包括支援センターの職員、事業所職員と法人代表である。会議では事業所の行事や運営報告を行い、利用者・家族の要望を聞き、出席者から意見や助言をもらっている。9月の定例防災訓練は、会議の出席者も参加して実施した。6月には保健所職員がゲストで出席し、食品衛生について話を聞いた。	運営推進会議の開催頻度については、出席者の協力を得て、2ヶ月に1回の開催を目指すことを期待します。

5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事業所の状況を報告し、指導を頂きながら運営しています。ご指導いただいた事には迅速に対応するよう努めております。運営推進会議にはオブザーバーとして地域包括支援センターの職員にご出席いただいております。	磯子区介護保険課には運営報告を行っている。各種の研修通知を受け、今年の夏には認知症実践者研修に1人が参加した。運営推進会議には社会福祉協議会と地域包括支援センターの職員の出席があり、意見をケアサービスの向上に活かしている。生活保護受給中の方を受け入れており、生活保護課とは連絡を密にしている。	
---	---	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日常生活の中で身体拘束になりうる可能性のある事はその場で確認し合い廃止しています。ADLの低下や認知症の進行があり車椅子の使用、ベッド柵の必要性が増えています。入院中は当たり前であったベルト・ベット柵が拘束である事をご家族様にもご理解いただき、ベルト・柵を使用せず、安心して生活できるようスタッフ間で連携していく様にしています。 言葉による拘束は本人も気付かないうち発している可能性が大きいので その場 日々の申し送り 申し送りノートを通じて、防いでいくようにしています。 定期的な研修は 時間を取る事が難しい状況もあるので、業務中や、申し送り時に 繰りかえし確認し合える場を設け、意識を高めていく事に努めております。	身体拘束を行わないことを契約書に明記している。管理者が日常業務の中で、物理的および言葉かけを含め、あらゆる身体拘束防止に対して教育している。「身体拘束防止マニュアル」を全職員に配布している。利用者の自由な暮らしを支えるため、職員間で見守り、見回りを連携している。日中は主玄関、各ユニット玄関ともに施錠はしない。居室の施錠は本人の意思に委ねている。エレベータで外出する人には、職員が開閉し付き添っている。外出を希望する人には職員が同行し、落ち着くまで付き添っている。身体拘束に繋がるケアが必要になった場合は、本人・家族と話し合い同意を得て、期間を限定して取り組んでいる。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日常の何気ない言葉の中に意識の中にない虐待があるのでは・・・と考え、行動や、言葉かけには注意を払い、スタッフ間の虐待に関する知識や認識度に合わせて 分かりやすく説明し、防止していかれるようにしています。開設より5年目になり、馴染みの関係が出来良い部分も多くあるのですが、馴れ合いにならないよう気をつけています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	運営推進会議や、その他学べる機会を設け理解していかれるよう努めていきます。		

9		<p>契約に関する説明と納得          契約の締結、解約又は改定等の          際は、利用者や家族等の不安や疑          問点を尋ね、十分な説明を行い理          解・納得を図っている</p>	<p>契約時には一緒に契約書、重要事項説明書を          確認し、不安や疑問点にお答えしています。          その場では思いつかない事や、入居してから          感じる事もあると思いますので、後からのご          質問等もいつでもお受けすることをお伝えし          ております。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意          見の反映          利用者や家族等が意見、要望を          管理者や職員並びに外部者へ表せ          る機会を設け、それらを運営に反          映させている</p>	<p>昨年よりご意見BOXを設置しました。皆様          から頂いたご意見ご要望を 運営に反映でき          る様に努めてまいります。外部評価のアンケ          ートの改善点は参考にさせて頂き改善に向け          て出来る事は努力をしております。</p>	<p>家族の来訪時や運営推進会議で利用者、家族の          意見、要望を聞いている。また、家族が集まる          敬老会やクリスマス会でも意見を聞く機会を設          けている。個人の経過記録に「家族の要望欄」          を設け、要望を直接記入してもらうなどの工夫          をしている。昨年度の外部評価アンケートで          は、トイレの臭いについての指摘があり掃除を          徹底した。事業所内で解決できない場合は、事          業所統括者および法人代表と協議する仕組みが          ある。</p>	<p>利用者・家族の意見・要          望を聞く機会を設けてい          ますが、アンケート結果          や日々の要望を会議録に          残し、反映させる仕組み          を作ることを期待しま          す。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送りノート、毎日朝夕の申し送りで常時情報交換できるようにし、必要ですぐできる事は即実施。全体できめることであればミーティングの議題として検討しています。 排便管理や、水分量の把握がしやすいよう個別の記録用紙を使い、表記の仕方もスタッフみんなが分かりやすい表示へ意見を取り入れ変わっていています。 各フロアでの過ごし方もスタッフの意見や提案により 入居者様の状況に合わせてテーブルの配置や席を変え、時間や実施状況を変えて無理のない一日が過ごせるよう意見を出し合っています。	管理者は日常的に職員へ声掛けし、意見・要望を聞いている。申し送りノートに職員の意見を記載し、毎月のフロア会議で検討し運営に反映させている。契約更改時にも意見・提案を聞く機会を設けている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めております。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々に適した研修を提案し、力量に合わせたスタッフ配置を心がけ業務の中で学び成長していけるよう配慮しています。就業しながら ヘルパー2 級取得や介護福祉士取得のバックアップ制度あります。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域のグループホーム連絡会に加入し、勉強会等に参加。横浜市の研修等で同職種の交流や連携を図れるようにしています。 同法人内の小規模多機能・グループホームとの交流、情報交換もあります		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	認知症の ご利用者様なので ゆっくりとご本人のペースで 安心してお互いの信頼関係を築いていかれるよう努めております。		
16		初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居にあたり、ご家族様がまだ迷われている事もあり、不安なお気持ちでおられる事もあるので、まずはお話ししたい事をゆっくりと伺い、その後サービスの開始にあたり必要な事、ご要望等をお伺いしております。一度では伝わりにくい事もあるので、その後も、連絡を取り合い確認する事もあります。		
17		初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お住まいを変えてグループホームに入居するという大きな変化があるので 混乱されるご入居者様もおられます。まずは安心して居られる場所である事を 入居者様・ご家族様にご理解頂けるように努めております。その後個々のご入居者様・ご家族様の状況や、ご要望に合わせたサービスの提案、提供をしております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事は一緒にやって頂き、役割や決定、選択をする事でその人らしく暮らせるようお手伝いさせて頂いております。 スタッフが洗濯物を干したり畳んだりしていると「やるよ」と手伝ってくださったり、入居者様から「なんかやる事あったらやるよ」と声をかけてくださることが多くあります。 スタッフの年齢層が幅広く、息子、嫁、娘孫のような役割で入居者様との関係を築けていると思います。歌や、昔の横浜や、磯子の様子をお話ししてくださり、教わる事も多くあります。		



19	<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時間は特に決めておらず、いつでも来ていただいて一緒にお食事やおやつ、レクリエーション等にもご参加頂けます。</p> <p>ご家族様だけでは大変な部分をお手伝いさせていただくことで、ご家族と一緒に楽しめる時間を持っていただきたいと考えています。</p> <p>グループホームに入居された入居様がより快適に生活していかれるようパートナーとして協力し合っていきたいと思っております。</p>		
----	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援            本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご本人が入居前からご利用されていた地域の活動、美容院や馴染みの店、医者等には継続して行かれるようお手伝いしております。            お友達の面会や電話の取り次ぎも常時お受けしています。親しいご友人や知人の方が来設されご本人のお部屋やリビング・食堂でお茶を飲みながら談笑される場面もあります。</p>	<p>住み慣れた地域の人との交流継続のため、利用開始時に本人・家族から親交のある人の情報を聞いている。近所の知人、親戚、過去の会社関係の人の来訪があり、談話コーナーなどで親交を深めている。近隣からの入居者があり、地域の祭り、買い物、散歩で交流する機会がある。馴染みの美容院に継続して通う人がいる。年賀状の作成投函、電話の取次ぎを職員が支援している。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援            利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>日常生活や、外出、レクリエーション、話題提供を通して、個人個人のお気持ちを考慮しながら、よりよい関係性を築いていかれるようにしています。            今ある関係性に執着せず、新しい発見を大切にしていきたいと思えます。</p>			
22		<p>関係を断ち切らない取組み            サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後も電話やお手紙で、ご本人やご家族様の近況をお知らせくださることもあります。            入院や、他施設に移られた入居者様に面会に行くこともあります。            季節のご挨拶等でも関係性を保っていききたいと思えます。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>危険や、他入居者様の迷惑や不快にならないことであれば出来るだけ、ご本人の思いに沿ってお手伝いさせて頂いております。 認知症があり、伝える事が難しい入居者様もおられるので、その時の表情や、行動からもくみ取れるように配慮しています。</p>	<p>本人や家族の思いや意向は利用開始時に面談し、「フェースシート」に記入し職員間で共有に努めている。「支援経過記録」に記入された家族の要望は、フロア会議で検討しケアプランに反映している。要望を出せる人が少ないので、職員が家族から聞いたり、本人の表情などから読みとるようにしている。日常生活では、本人の出来ることを積極的に行動してもらっている。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>認知症があり、正確にお伺いすることは難しい事もありますが、ご家族様からのお話や、日常のなかでの会話で馴染みのもの、好みのやり方等をうかがい、今までの暮らしに近い生活が継続できる様にお手伝いしています。入居者様のケアに必要な以上の情報はお伺いしておりません。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>食事、水分の摂取量、排泄状況、バイタル測定値、毎日のご様子を記録し、その日状態をスタッフ全員が把握し、安全に快適に過ごせるように努めています。 役割や、レクリエーション、外出等もご本人のご希望、心身の状態に合わせ無理なく楽しみながら出来るよう配慮しています。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>生活全体の介護計画はご家族様、介護スタッフ、訪問看護、かかりつけ医、可能であればご本人で、ご要望や、ご本人の現在の状況を共有し安心して快適に暮らしていかれるような介護計画が作成出来るよう心がけています。 ご高齢で、認知症がある為、体調・精神状況等日々不安定なご様子もあり、ケアの方向性が変わることも多くあるので、緊急時や細かいサービスの内容は 毎日の申し送り、申し送りノート、口頭等で常に確認し合い、ご家族様には、電話等でご連絡させて頂いております。</p>	<p>本人・家族の意向を聞いて介護計画を作成している。月に1回のスタッフミーティングでモニタリングが行われている。6ヵ月ごとに評価を行い、医師・看護師の意見を取り入れて介護計画を見直している。心身の状態に変化があれば随時見直している。支援経過記録に個別の介護計画を記入し、「計画に沿った介護状況を記録」している。 盆踊りには、全員が参加出来るように計画している。廊下で手引き歩行訓練が行われていた。</p>	

27	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や、変化等を個別の介護記録や業務日誌、申し送りノートに記録して情報を共有し、毎日の申し送り時や、ミーティングで話し合いケアの方向性を決めています。		
----	--	--	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	共同生活の中でありながらも、個人個人のその時のニーズに出来るだけ速やかに対応できるように努めております。 帰宅願望、外出願望のある入居者様がいらっしゃり、1日前に外出した事、午前中に外出した事も忘れてしまい、「ずっと出かけていないから・・・」と言われ、外に出てしまう事が頻回にあります。高齢であり、お一人で外出は危険である事等お伝えしても理解はできず、お止めする事で気持ちが沈んでしまう様子。外出する事で帰設後はとても喜ばれ、その後しばらくは穏やかに過ごす事ができる事が分かり、スタッフが連携し、外出願望があった時には出来る限り速やかに対応できるようにしています。 今後も皆さまが満足できる柔軟な対応を心がけていきたいと思っております。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	住み慣れた地域の中での生活が継続できるよう地域の情報を把握し、ご本人が楽しめるようにしています。定期的な地域の催しは楽しみにされておりますので安全に参加できるようお手伝いしております。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問看護に間に入っただきながら、ご本人（ご家族様）がご希望されているかかりつけ医と連携をとっています。 定期受診の際、ご家族様から入居者様のご様子が伝えにくい時は、様子や測定した数値を書面にしてお持ちいただく事や、受診に同行して直接 Dr に入居者様の体調・ご様子をお伝えすることもあります。 定期受診・緊急時の受診等、家族様のご都合がつかないときは、ループホームで付き添いをさせていただく事もあります。	入居以前からのかかりつけ医を6名が利用しており、家族が受診に付き添っている。受診結果は家族から入手し、職員と共有している。訪問診療医の利用者が12名おり、月に2回診療を受けている。訪問歯科医を利用している人もいる。訪問看護ステーションの看護師が毎週1回訪れ、健康管理が行われている。認知症については、かかりつけ医から紹介された医師に相談している。サイボウズで情報を共有している医療機関もあり、意見を介護計画に反映している。	

31	<p>看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様の体調に関して相談させていただくなど、ご家族様からの疑問や不安に思っている事なども相談させて頂き、療面で個人個人に適切なケアが出来るようになってきています。 受診時の医療機関の情報もアドバイスしていただきスムーズに受診できるようになりました。</p>		
32	<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>お見舞いに伺い、ご様子を拝見させていただくなど、ご家族様とは密に連絡を取り、入居者様の状況を把握できるように努めております。必要であればご家族様ご了承の上、病院からも情報提供を受け、ご本人様、ご家族様共に安心して治療できるよう、また退院に向けて適切に対応できるよう準備につとめております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居の契約の際、重度化した場合や終末期には双方で話し合い状況に適した対応をしていきたいとお伝えしてあります。ご本人、ご家族様の望む事、事業所で出来る事をきちんとお互いに理解し合った上で医療機関、訪問看護と連携し支援していきたいと思っております。ご家族様の思いは、その時その時で変わる事があるので その時の入居者様のご様子、ご家族様の思いに沿って、終末期をどこでどう迎えたいかのご意向を伺い 同意書の作成をしています。</p>	<p>利用者が重度化した場合は「重度化・終末期ケア対応指針」を説明し、本人・家族の意向を確認し「同意」を得ている。重度化・終末期を迎えた場合は、その都度関係者と協議し、他施設との医療連携体制により、意向に沿ったチームケアが行われている。「看取りマニュアル」により研修が行われている。これまでに3名の看取り実績があり、職員は落ち着いて対応することができた。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>開設より4年が経過し、践の中でも経験を積む事が出来、乱することなく対応できる状況になってきました。</p> <p>今後もミーティングや研修を通して（特に新人スタッフに重点を置いて）実践力を身につけ、急変や、事故発生時に適切な対応ができる体制作りをしてまいります。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的避難訓練等や日頃から意識していく事を心がけています。</p> <p>今年も9月の運営推進会議では、隣の方のご協力をいただき 避難訓練を実施しました。</p> <p>非常用の飲用水・食糧の備蓄があります。</p>	<p>消火・避難訓練は、1階の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で1回実施し、年度内にもう一回行う予定である。消防署と運営推進会議出席者の協力がある。ベランダに避難梯子がある。今後、町内会の消防団には協力を依頼する意向である。非常用食料・飲料水の備蓄は小規模多機能型居宅介護事業所と合わせて3日分を確保している。また、ガスコンロなどの防災用品の備えがある。</p>	<p>災害対策の地域との協力体制については、町内会の消防団や地域住民の参加が得られるように、継続協議されることを期待します。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常の生活において常に心がけています。	契約時に個人情報保護の説明を行い、同意書を受け取っている。職員の入職時に「プライバシー保護・個人情報取り扱いマニュアル」、「職員倫理規定」について説明を行っている。「個人情報保護方針」がユニット玄関に掲示されている。個人情報に係る重要書類は、事務室のキャビネットに施錠保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知症がある為、自分の思いが上手く伝わらなかつたり誤解をされてしまう事も多くあるので、そのような事で辛い思いをしたり、不信感につながらないように十分配慮しながら一人お一人の想いに耳を傾けるよう努めております。可能である方はご自分で、お一人では難しい方は、お気持ちを考えながら自分で決定していられるようお手伝いしております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	グループホームでの一日の過ごし方、食事や、活動等の時間は概ね決めてありますが、参加や決定はご本人にお任せしています。無理強いをせず、楽しいで参加して頂けるような声かけを心がけております。他入居者やスタッフとの交流を大切にしながらも、ご本人のペースで生活できるよう配慮しております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人らしい、ご本人がお好きな装いをしています。ご自宅から持ってこられた服で、長く大切にされていたものをお召しになっている事が多くあります。認知症がある為に季節に合わない服装や、正しい着用ができていない事もありますが、そんな時はご本人にさりげなくお伝えし、ご自分で納得されてから一緒に適した服を選び着用していただいています。散髪、髪染め等もご希望があればお手伝いしています。起床時や入浴後の髪の毛の乱れや、衣類等の食べこぼし(認知症があり、難しい入居者様もおられますが、無理		



			<p>のないよう)眼やに、耳垢、爪 髭剃り等も毎日の生活の中で配慮しています。</p>		
40	15	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>「お腹がすいた」「食べたい」気持ちになるように出来るだけ活動に参加していただけるよう、活動内容を工夫し、声掛けを工夫しています。皆で同じものを頂くので毎食お好みの物はお出しできませんが、食べたい物や、好きなものを伺いお出しできる機会を作ろう努めています。食事の準備や後片付けができる入居者様には一緒に手伝って頂いています。</p> <p>各フロア毎にメニュー決めて 買物や調理をみんなで楽しむこともあります。</p> <p>A D Lの低下があり、刻み食・ミキサー食をお出しするようになりました。見た目や食感に配慮するなどミキサーに適さない食材は他の食材に変えて、形態が変わっても食事を楽しめるように努めております。</p>	<p>昼食と夕食の主菜は、1階の小規模多機能型居宅介護事業所の厨房で調理し、各ユニットで盛り付けている。ご飯と汁物は各ユニットで作る。朝食とおやつは各ユニットで調理している。利用者個々の食形態に合わせミキサー、刻み、とろみ食や減塩食を提供している。年間行事に合わせた食事のほか、希望を聞いて寿司の出前を取ったりファミリーレストランにも出かけたりにしている。木曜の夕夜は「鮪の刺身の日」にしている。利用者は配膳、片づけなど出来ることを手伝っている。職員は介助しながら、利用者と談笑し、同じ食事をとっていた。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人個人のお食事量やお食事をされている様子を把握し、記録をもとに少ない時には食事時以外にも捕食として好きな物をお出ししています。 食事量・水分摂取量の少ない入居者様や体調不良時には通常の記録の他に細かく量を記録するようにし、一日の摂取量を確保できるようにしています。 必要と判断した時には医療と連携し、適切な対応が出来るようにしています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後 お一人ずつに合わせた口腔ケアをしています。 ご希望があれば、必要に応じて、訪問歯科受診のお手伝いもしております。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様お一人お一人に合わせた排泄パターン、習慣でお手伝いしております。その日の体調や、排泄記録をもとにトイレの声掛けや、下着の使い分けをし、快適に清潔に過ごせるよう配慮しています。	利用者個々の「排泄チェックシート」から排泄パターンを確認し、トイレに誘導している。声掛けでは、周りに人がいるかに配慮している。自立の人は居ないが、見守りとトイレに誘導することで、おむつからリハビリパンツに改善された人がいる。トイレは各ユニットに3カ所設けている。中央のトイレ脇には休憩コーナーがある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食後等は ゆっくりトイレに入れるような環境作りに配慮しています。ご自分でいかれない方には声かけし、排便の機会を作る様にしています。 午前中のお茶の時間は毎日ヨーグルトとバナナを召し上がっていただいています。楽しみながら運動量がとれるよう散歩や買い物や日常の中に取り入れています。雨天の時は体を動かせるような室内ゲーム等で運動量を取るようにしています。便秘になりやすい入居者様には、毎日ブルーベリーを召し上がっていただき、水分摂取を心がけていますがそれでも困難な時は医療機関に相談し、整腸剤や緩下剤を処方してもらつ事もあります。排泄表を基		

			に排便の有無を確認し、必要な場合はご本人に処方されている下剤を服用していただく等の排便管理をしています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人のお好みの湯加減に調節し お一人ずつ入浴して頂いております。ご希望があった時は入浴日以外でも入浴して頂いております。 入居者様によっては 入浴に拒否がある方もおられますが、入ってしまうと皆さん「気持ちいい」「ありがとう」とのお言葉を頂いております拒否された時は 無理強いせず、時間をおいて再度お誘いしたり、声をかけるスタッフをかえたりしています。	週に2回入浴している。介助の必要がない人は連日入浴できる。夏季はシャワーを利用する人もいる。浴室入口には暖簾をかけ、脱衣所には季節に合わせ、扇風機やガスヒーターを置いている。浴槽の左右にスペースがあり介助がしやすい。利用者には入浴剤やゆず湯で楽しんでもらっている。入浴を望まない人には、相性の良い介助者に替えたり、時間を置いて声をかけ、無理強いしないように誘導している。同性介助にも対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>就寝時間もそれぞれ違うので休みたくなったらお休みいただくようにしていますが、あまりに深夜まで休めない様子や認知症があり、ご本人でその状況が判断できず入眠するタイミングを逃し、興奮状態になられる入居者様には、眠くなるような雰囲気づくりをし、落ち着いて眠れるよう配慮しています。日中もその日の体調や入居者様それぞれの習慣に応じてお休みいただいています。照明や寝具等も気持ちよく休めるよう、できるだけお好みに合わせて整えています。</p>		
47		<p>服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>常に確認できるよう、最新の薬情を薬箱の近くに設置しています。服薬時はスタッフ2人以上での確認を徹底しています。体調や症状の変化があった時は、ご家族様、医療機関と連携を取り、適切な服薬ができるようお手伝いします。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>季節に合わせた行事や入居者様それぞれに合いながら楽しめること、気分転換出来る事を計画しています。昔していた仕事柄 食事の盛り付けや配膳が得意な入居者さまが自ら手伝ってくださることも多くあります。コーヒーを飲む習慣があった方には、お好みの時間にコーヒータイムを過ごしていただいています。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>近くに商店街や公園がいくつかあり、その日の天気や皆様の気分に合わせて散歩の行き先を決めていっています。ご本人が希望されていても、普段は行かれないところは、ご家族様に協力していただき、あらかじめ日にちを決めてその日は外出の為の職員配置をし、安全に出かけられるようにしています。</p>	<p>天気の良い日には職員が付き添い、車椅子の人と一緒に近くの公園（3カ所）に散歩に出かけている。ホームの近隣にあるスーパーマーケットや根岸橋付近の小さな市場に服やおやつなどの買い物に出かけている。年間行事計画に沿って、季節ごとの花見、いちご狩り、市電保存館などにドライブを兼ねて出かけている。家族の協力を得て外食や墓参りに行くこともある。</p>	

50	<p>お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を管理できる方はおられないので お小遣いは金庫預かりとさせていただき、スタッフが管理しています。 事業所の向かいにスーパーマーケットがあり、少量ずつその時に欲しいものを買に行ったり、広告を見て特売の商品をみんなで買に行ったりと気軽に買い物を楽しめる環境にあります。買物の希望があるときは 個別に対応する事もあります。</p>		
----	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも希望された時はお手伝いしています。年賀状・暑中見舞いは、フロアでのレクリエーションで作成し、ご家族様に送らせていただいています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お掃除や季節の飾り、花を飾る等 入居者様と一緒に楽しみながらやっております。食堂・リビングのレイアウトもその時の状況に合わせて位置を変えて楽しんでいます。	共用空間には食堂と談話コーナー（TVとCDプレイヤー）がある。明るく清潔でありエアクリナーが置かれている。内部はバリアフリーで、壁面には利用者の習字、職員と作った季節感のある七夕や鯉のぼりなどの作品や生花、行事の写真、人形などが展示され、憩いの空間がつけられている。リビングでは体操、懐かしい歌、ゲームなどで終日レクリエーションを楽しんでいます。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の席は自然に定着していったのですが、その日の気分やご本人の希望で皆さんが楽しめるよう臨機応変に対応しています。リビングのソファもその時の状況に応じてご自由に楽しんでいただけるよう配慮しています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人のお好みや使い慣れた寝具、家具をお持ちいただきご自由にレイアウトして頂いております。テレビ、ラジオ、大切なお仏壇を置かれていらっしゃる方もおられます。 カーテンは当初は今までお使いの物をお持ちいただいておりましたが、消防署のご指導により防災の物に変えていただいております。	居室扉には、電車の飾りに入居者の写真が掲示されている。居室の入口には暖簾を掛けている人もいます。居室にはエアコン、照明器具、クローゼットが備え付けられている。利用者は馴染みの整理タンス、テレビ、人形、写真、仏壇、防災カーテンなどを持ち込み、居心地良く暮らしている。室内清掃は職員も手伝っている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全にご自分で歩いて移動していただけるよう、床は段差のないフラットなつくりになっています。その時の入居者様の状況に応じて居室のネームプレートの作成や「トイレ」「風呂」等を表示し、迷わずに移動できるようにしています。		

事業所名	グループホームみのり丸ちゃん山ちゃん
ユニット名	山ちゃん

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に掲げている「食」と「その人らしさ」を大切にしています。入居者様、ご家族様のそれぞれの異なるニーズに柔軟にお答えできるようスタッフ間で連携し、実践に努めています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し 行事等に参加させて頂いております。敬老会、餅つき、夏祭り等は毎年皆さんがとても楽しみにされています。町内会の行事では顔なじみのご近所の方々にお声をかけて頂き「あら お久しぶり お元気でした？」と 談笑される場面もよくあります。近隣の商店での買い物や、散歩を通して日常で交流が図れるように心がけています。近隣に在住のスタッフも多く、地域の情報や話題を多く、入居者様と共有出来ていると思います。ご近所のお宅から 釣ってきたお魚のおすそわけを頂く事があります。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日常生活の中での近隣との交流や、見学に来られた皆さまにお伝えすることで 認知症があっても穏やかに その人らしく暮らしていける事が理解されてきていると思います。		



4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に関催する事で コミュニケーションも取れ、お話ししやすい雰囲気になってきています。今年度から3ヶ月毎、年4回の開催をする事にしました。報告した活動状況にご家族様目線での、評価、アドバイスを聞く事ができ、サービスの向上に活かす事が出来ていると思います。会議で要望された事は速やかに対応するように努めております。</p>		
5	4	<p>市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>事業所の状況を報告し、指導を頂きながら運営しています。ご指導いただいた事には迅速に対応するよう努めております。  運営推進会議にはオブザーバーとして地域包括センターの職員にご出席いただいております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>日常生活の中で身体拘束になりうる可能性のある事はその場で確認し合い廃止しています。ADLの低下や認知症の進行があり車椅子の使用、ベッド柵の必要性が増えてきています。入院中は当たり前であったベルト・ベット柵が拘束である事をご家族様にもご理解いただき、ベルト・柵を使用せず、安心して生活できるようスタッフ間で連携していく様にしています。</p> <p>言葉による拘束は 本人も気付かないうち発している可能性が大きいので その場や日々の申し送り 申し送りノートを通じて、防いでいくようにしています。</p> <p>定期的な研修は 時間を取る事が難しい状況もあるので、業務中や、申し送り時に 繰りかえし確認し合える場を設け、意識を高めていく事に努めております。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日常の何気ない言葉の中に意識の中のない虐待があるのでは・・・と考え、行動や、言葉がけには注意を払い、スタッフ間の虐待に関する知識や認識度に合わせて 分かりやすく説明し、防止していかれるようにしています。開設より5年目になり、馴染みの関係が出来、良い部分も多くあるのですが、馴れ合いにならないよう気をつけています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>運営推進会議や、その他学べる機会を設け理解していかれるよう努めていきます。</p>		

9		<p>契約に関する説明と納得          契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には一緒に契約書、重要事項説明書を確認し、不安や疑問点にお答えしています。その場では思いつかない事や、入居してから感じる事もあると思いますので、後からのご質問等もいつでもお受けすることをお伝えしております。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映          利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>昨年よりご意見BOXを設置しました。皆様から頂いたご意見ご要望を運営に反映できるように努めてまいります。外部評価のアンケートの改善点は参考にさせて頂き改善に向けて出来る事は努力をしております。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送りノート、毎日朝夕の申し送りで常時情報交換できるようにし、必要ですぐできる事は即実施。全体できめることであればミーティングの議題として検討しています。 排便管理や、水分量の把握がしやすいよう個別の記録用紙を使い、表記の仕方もスタッフみんなが分かりやすい表示へ意見を取り入れ変わっていています。 各フロアでの過ごし方もスタッフの意見や提案により 入居者様の状況に合わせてテーブルの配置や席を変え、時間や実施状況を変えて無理のない一日が過ごせるよう意見を出し合っています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めております。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々に適した研修を提案し、力量に合わせたスタッフ配置を心がけ業務の中で学び成長していけるよう配慮しています。就業しながら ヘルパー2級取得、介護福祉士取得のバックアップ制度あり		

14	<p>同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>地域のグループホーム連絡会に加入し、勉強会等に参加。横浜市の研修とうで同職種の交流や連携を図れるようにしています。 同法人内の小規模多機能・グループホームとの交流、情報交換もあります</p>		
----	---	--	--	--

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>認知症の ご利用者様なので ゆっくりとご本人のペースで 安心してお互いの信頼関係を築いていかれるよう努めております。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居にあたり ご家族様が まだ迷われおり、不安なお気持ちでおられる事もあるので、まずはお話ししたい事をゆっくりと伺いその後サービスの開始にあたり必要な事、ご要望等をお伺いしとります。一度では伝わりにくい事もあるので、その後も、連絡を取り合い確認する事もあります。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>お住まいを変えてグループホームに入居するという大きな変化があるので 混乱されるご入居者様もおられます。まずは安心して居られる場所である事を 入居者様・ご家族様にご理解頂けるように努めております。その後個々のご入居者様・ご家族様の状況や、ご要望に合わせたサービスの提案、提供をしております。</p>		

18	<p>本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>出来る事は 一緒にやって頂き 役割や 決定、選択をする事でその人らしく暮らせるようお手伝いさせて頂いております。</p> <p>スタッフが洗濯物を干したり畳んだりしていると「やるよ」と手伝ってくださったり、入居者様から「なんかやる事あったらやるよ」と声をかけてくださることが多くあります。</p> <p>スタッフの年齢層が広く 息子、嫁、娘孫のような役割で入居者様との関係を築けていると思います。歌や、昔の横浜や、磯子の様子をお話しして下さり 教わる事も多くあります。</p>		
19	<p>本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時間は特に決めておらず、いつでも来ていただいて一緒にお食事やおやつ、レクリエーション等にもご参加頂けます。</p> <p>ご家族様だけでは大変な部分をお手伝いさせて頂きたくことで、ご家族と一緒に楽しめる時間を持っていただきたいと考えています。</p> <p>グループホームに入居された 入居者様がより快適に生活していかれるようパートナーとして協力し合っていきたいと思っております。</p>		

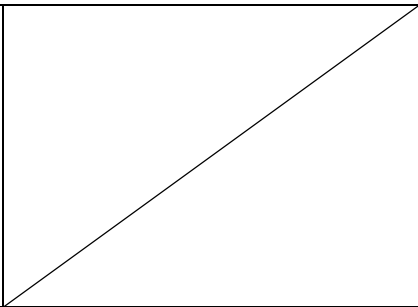
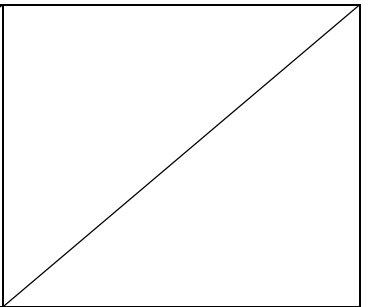
自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援            本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご本人が入居前からご利用されていた地域の活動、美容院や馴染みの店、医者等には継続して行かれるようお手伝いしております。            お友達の面会や電話の取り次ぎも常時お受けしています。親しいご友人や 知人の方が来設されご本人のお部屋や リビング・食堂でお茶を飲みながら 談笑される場面もあります。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援            利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>日常生活や、外出、レクリエーション、話題提供を通して、個人個人のお気持ちを考慮しながら よりよい関係性を築いていかれるようにしています。            今ある関係性に執着せず 新しい発見を大切にしていきたいと思ひます。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み            サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後も電話や、お手紙で ご本人やご家族様の近況をお知らせくださることもあります。            入院や、他施設に移られた入居者様に面会に行くこともあります。            季節のご挨拶等でも関係性を保っていききたいと思ひます。</p>		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	危険や、他入居者様の迷惑や不快にならないことであれば出来るだけ ご本人の思いに沿ってお手伝いさせて頂いております。 認知症があり 伝える事が難しい入居者様もおられるので その時の表情や、行動からもくみ取れるように配慮しています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	認知症があり 正確にお伺いすることは難しい事もありますが、ご家族様からのお話や、日常のなかでの会話で馴染みのもの、好みのやり方等をうかがい、今までの暮らしに近い生活が継続できる様にお手伝いしています。入居者様のケアに必要以上の情報はお伺いしておりません。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事、水分の摂取量、排泄状況、バイタル測定値、毎日のご様子を記録し、その日状態をスタッフ全員が把握し、安全に快適に過ごせるように努めています。 役割や、レクリエーション、外出等もご本人のご希望、心身の状態に合わせ無理なく楽しみながら出来るよう配慮しています。		

26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング          本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>生活全体の介護計画はご家族様、介護スタッフ、訪問看護、かかりつけ医、可能であればご本人で、ご要望や、ご本人の現在の状況を共有し安心して快適に暮らしていかれるような介護計画が作成出来るよう心がけています。          ご高齢で、認知症がある為 体調・精神状況等日々不安定なご様子もあり ケアの方向性が変わることも多くあるので 緊急時や細かいサービスの内容は 毎日の申し送り、申し送りノート、口頭等で常に確認し合い、ご家族様には 電話等でご連絡させて頂いています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映          日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子や、変化等を個別の介護記録や業務日誌 申し送りノートに記録して情報を共有し、 毎日の申し送り時や、ミーティングで 話し合いケアの方向性を決めています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	共同生活の中でありながらも、個人個人のその時のニーズに出来るだけ速やかに対応できるように努めております。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	住み慣れた地域の中での生活が継続できるように地域の情報を把握し、ご本人が楽しめるようにしています。定期的な地域の催しは楽しみにしておりますので安全に参加できるようお手伝いしております。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問看護に間に入っていただきながら、ご本人（ご家族様）がご希望されているかかりつけ医と連携をとっています。 定期受診の際 ご家族様から入居者様のご様子が伝えにくい時は ご様子や測定した数値を書面にしてお持ちいただく事もあります、受診に同行して直接 Drに入居者様の体調・ご様子をお伝えすることもあります。 定期受診・緊急時の受診等 ご家族様のご都合がつかないときは グループホームで付き添いをさせていただきます事もあります。		
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者様の体調に関して相談させていただき、ご家族様からの疑問や不安に思っている事なども相談させて頂き 医療面で個人個人に適切なケアが出来るようになってきています。 受診時の医療機関の情報もアドバイスして下さりスムーズに受診できるようになりました。		

32	<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>お見舞いに伺い、ご様子を拝見させていただき、ご家族様とは密に連絡を取り、入居者様の状況を把握できるように努めております。必要であればご家族様ご了承の上、病院からも情報提供を受け、ご本人様、ご家族様共に安心して治療できるよう、また 退院に向けて適切に対応できるよう準備につとめております。</p>		
----	---	--	---	---

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居の契約の際、重度化した場合や終末期には双方で話し合い状況に適した対応をしていきたいとお伝えしてあります。ご本人、ご家族様の望む事、事業所で出来る事をきちんとお互いに理解し合った上で医療機関、訪問看護と連携し支援していきたいと思えます。ご家族様の思いは、その時その時で変わる事があるので その時の入居者様のご様子、ご家族様の思いに沿って、終末期をどこでどう迎えたいかのご意向を伺い 同意書の作成をしています。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>開設より4年が経過し 実践の中でも経験を積む事が出来 混乱することなく 対応できる状況になってきました。</p> <p>今後もミーティングや 研修を通して（特に新人スタッフに重点を置いて） 実践力を身につけ、急変や、事故発生時に適切な対応ができる体制作りをしてまいります。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期の避難訓練等や日頃から意識していく事を心がけています。</p> <p>今年も9月の運営推進会議では 近隣の方のご協力をいただき 避難訓練を実施しました。</p> <p>非常用の飲用水・食糧の備蓄あり。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常生活において常に心がけています。男性、女性が一緒のフロアで生活されていますので、配慮を欠かさないよう努めております。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知症がある為、自分の思いが上手く伝わらなかったり誤解をされてしまう事も多くあるので そのような事で辛い思いをしたり 不信感につながるよう十分配慮しながら お一人お一人の想いに耳を傾けるよう努めております。可能である方はご自分で お一人では難しい方は お気持ちを考えながら自分で決定していかれるようお手伝いしております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	グループホームでの一日の過ごし方、食事や、活動等の時間は概ね決めてありますが、参加や決定はご本人にお任せしています。無理強いをせず、楽しいんで参加して頂けるような声かけを心がけております。他入居者やスタッフとの交流を大切にしながらも、ご本人のペースで生活できるよう配慮しております。		

39		<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>ご本人らしい、ご本人がお好きな装いをしています。ご自宅から持ってこられた服で、長く大切にされていたものをお召しになっている事が多くあります。認知症がある為に季節に合わない服装や、正しい着用ができていない事もありますが、そんな時はご本人にさりげなくお伝えし、ご自分で納得されてから一緒に適した服を選び着用していただいています。散髪、髪染め等もご希望があれば お手伝いしています。起床時や入浴後の髪の流れや、衣類等の食べこぼし（認知症があり、難しい入居者様もおられますが、無理のないよう）眼やに、耳垢、爪 髭剃り等も毎日の生活の中で配慮しています。</p>		
40	15	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>「お腹がすいた」「食べたい」気持ちになるように出来るだけ活動に参加していただけるよう、活動内容を工夫し、声掛けを工夫しています。皆で同じものを頂くので毎食お好みの物はお出しできませんが、食べたい物や、お好きなものを伺いお出しできる機会を作るよう努めています。食事の準備や後片付けができる入居者様には一緒に手伝って頂いています。 各フロア毎にメニュー決めて 買物や調理をみんなで楽しむこともあります。 ADLの低下があり、刻み食・ミキサー食をお出しするようになりました。見た目や食感に配慮するなどし ミキサーに適さない食材は他の食材に変えて 形態が変わっても食事を楽しめるように努めております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援            食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個人個人のお食事量やお食事をされている様子を把握し、記録をもとに少ない時には食事時以外にも捕食として好きな物をお出ししています。食事量・水分摂取量の少ない入居者様や体調不良時には通常の記録の他に細かく量を記録するようにし、一日の摂取量を確保できるようにしています。必要と判断した時には医療と連携し、適切な対応が出来るようにしています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持            口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後 お一人ずつに合わせた口腔ケアをしています。ご希望があれば、必要に応じて、訪問歯科受診のお手伝いもしております。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援            排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>入居者様お一人お一人に合わせた排泄パターン、習慣でお手伝いしております。その日の体調や、排泄記録をもとにトイレの声掛けや、下着の使い分けをし、快適に清潔に過ごせるよう配慮しています。</p>		



44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>朝食後等は ゆっくりトイレに入れるような環境作りに配慮しています。ご自分でいかれない方には声かけし、排便の機会を作る様にしています。午前中のお茶の時間は毎日ヨーグルトとバナナを召し上がっていただいています。楽しみながら運動量がとれるよう散歩や買い物を日常の中に取り入れています。雨天の時は体を動かせるような室内ゲーム等で運動量を取るようになっています。便秘になりやすい入居者様には、毎日プルーンを召し上がっていただき、水分摂取を心がけていますがそれでも困難な時は医療機関に相談し、整腸剤や緩下剤を処方してもらう事もあります。排泄表を基に排便の有無を確認し、必要な場合はご本人に処方されている下剤を服用していただく等の排便管理をしています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>ご本人のお好みの湯加減に調節し お一人ずつ入浴して頂いております。ご希望があった時は入浴日以外でも入浴して頂いております。 入居者様によっては 入浴に拒否がある方もおられますが、入ってしまうと皆さん「気持ちいい」「ありがとう」とのお言葉を頂いております拒否された時は 無理強いせず、時間をおいて再度お誘いしたり、声をかけるスタッフをかえたりしています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	就寝時間もそれぞれ違うので 休 みたくなったらお休みいただくよ うにしていますがあまりに深夜ま で休まれない様子や認知症があ りご本人でその状況が判断でき ず入眠するタイミングを逃し、 興奮状態になられる入居者様 には、眠くなるような雰囲気づ くりをし、落ち着いて眠れるよ う配慮しています。日中もその 日の体調や入居者様それぞれの 習慣に応じてお休みいただいで います。照明や寝具等も気持ち よく休めるよう、できるだけお 好みに合わせて整えています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る	常に確認できるよう、最新の薬 情を薬箱の近くに設置していま す。服薬時はスタッフ2人以上で の確認を徹底しています。体調 や症状の変化があった時は、ご 家族様、医療機関と連携を取り 、適切な服薬ができるようお手 伝いします。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	季節に合わせた行事や 入居者 様それぞれに伺いながら楽しむ こと、気分転換出来る事を計画 しています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける るよう支援している	近くに商店街や公園がいくつか あり、その日の天気や皆様の気 分に合わせて散歩の行き先を決 めています。ご本人が希望され ていても、普段は行かないところ は、ご家族様に協力していただき 、あらかじめ日にちを決めてそ の日は外出の為の職員配置をし 、安全に出かけられるようにし ています。		

50	<p>お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を管理できる方はおられないので お小遣いは金庫預かりとさせていただき、スタッフが管理しています。 事業所の向かいにスーパーマーケットがあり、少量ずつその時に欲しいものを買に行ったり、広告を見て特売の商品をみんなで買に行ったりと気軽に買い物を楽しめる環境にあります。買物の希望があるときは 個別に対応する事もあります。</p>		
----	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも希望された時はお手伝いしています。年賀状・暑中見舞いは フロアーでのレクリエーションで作成し、ご家族様に送らせていただいています		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お掃除や季節の飾り、花を飾る等 入居者様と一緒に楽しみながらやっております。食堂・リビングのレイアウトも その時の状況に合わせて位置を変えて楽しんでいます。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の席は自然に定着していったのですが、その日の気分やご本人の希望で皆さんが楽しめるよう臨機応変に対応しています。リビングのソファもその時の状況に応じてご自由に楽しいんでいただけるよう配慮しています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人のお好みや使い慣れた寝具、家具をお持ちいただきご自由にレイアウトして頂いております。テレビ、ラジオ、大切なお仏壇を置かれていらっしゃる方もおられます。 カーテンは当初は今までお使いの物をお持ちいただきましたが、消防署のご指導により防災の物に変えていただいております。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全にご自分で 歩いて移動していただけるよう床は段差のないフラットなつくりになっています。その時の入居者様の状況に応じて居室のネームプレートの作成や「トイレ」「風呂」等を表示し、迷わずに移動できるようにしています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームみのり丸  
 ちゃん山ちゃん  
 作成日 平成26年3月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の開催が3ヶ月に1度である事	2ヶ月に1度開催を目標とする。	先年度までは 年3回の開催であったが、昨年の外部評価の目標達成計画に年4回を挙げ今年度実施した。 3月7日に運営推進会議開催時 参加メンバーに伺ったところ、他の仕事や予定もあり、2ヶ月に1回は難しいとの返答もあった。ご家族様も都合がつかず、欠席が続いており後任をひきうけてくださるご家族様を探している状況にある。 取組としては 26年度、3ヶ月に1回 内容の年間計画を立てて開催していく。その中で参加メンバーに2ヶ月に1度の開催を提案していく。 メンバーの都合を伺いながら 無理なく2ヶ月に1回の開催が出来るよう検討していく。	1年

2	13	災害対策の地域協力体制を整えていく	地域と連携し協力し合いながら災害対策を整える。	今年度から年2回の避難訓練を実施していく。地域に協力を得られるようであれば参加して頂く。当施設は耐震構造になっており、非常用の食料や飲料水の備蓄もしている。常時人がいる事もあり緊急時の避難、連絡拠点としても地域の皆さんに役立てて頂ける事等をお知らせしていきながら協力体制を整え行く。避難訓練時に消防団の協力も検討しているが、団員は仕事を持っているので難しく、なかなか実現できない状況にある。町内会の協力を得ながら話を進めていく予定。以前アドバイス頂いた近隣のスーパーの協力に関してはスーパーは営業中であることもあり、保留となっている。	1年
3	6	利用者、家族の意見・要望を会議録に残し反映させる仕組みを作る	日常で実施出来ている事、した事を記録に残し反映させていく。	ご利用者様、ご家族様からの要望等は可能な事であればすぐに対応するよう心がけているが、その過程や手段等を記録に残さずその場その場になっている事が多くあるので、物事の始まりから過程、結果等を記録に残し、今後役に立てていかれるようにしていく。	

4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。